

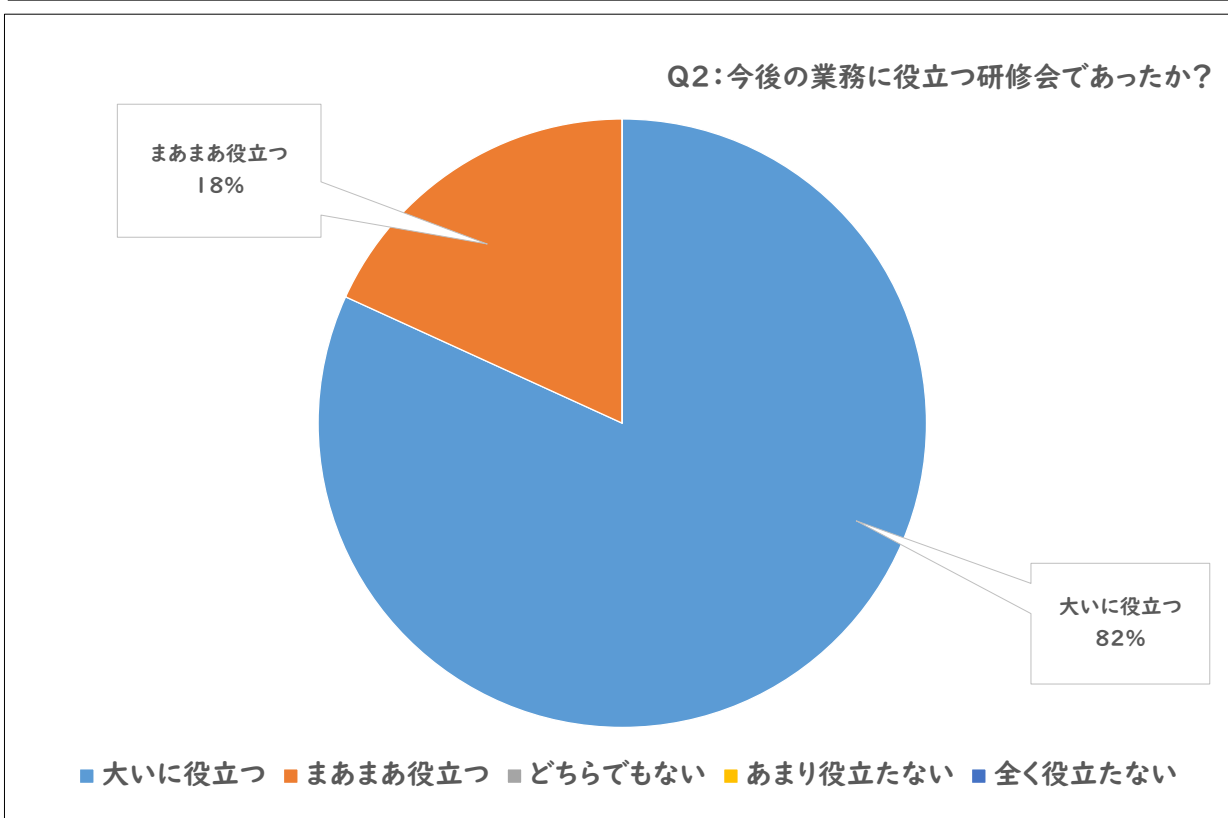
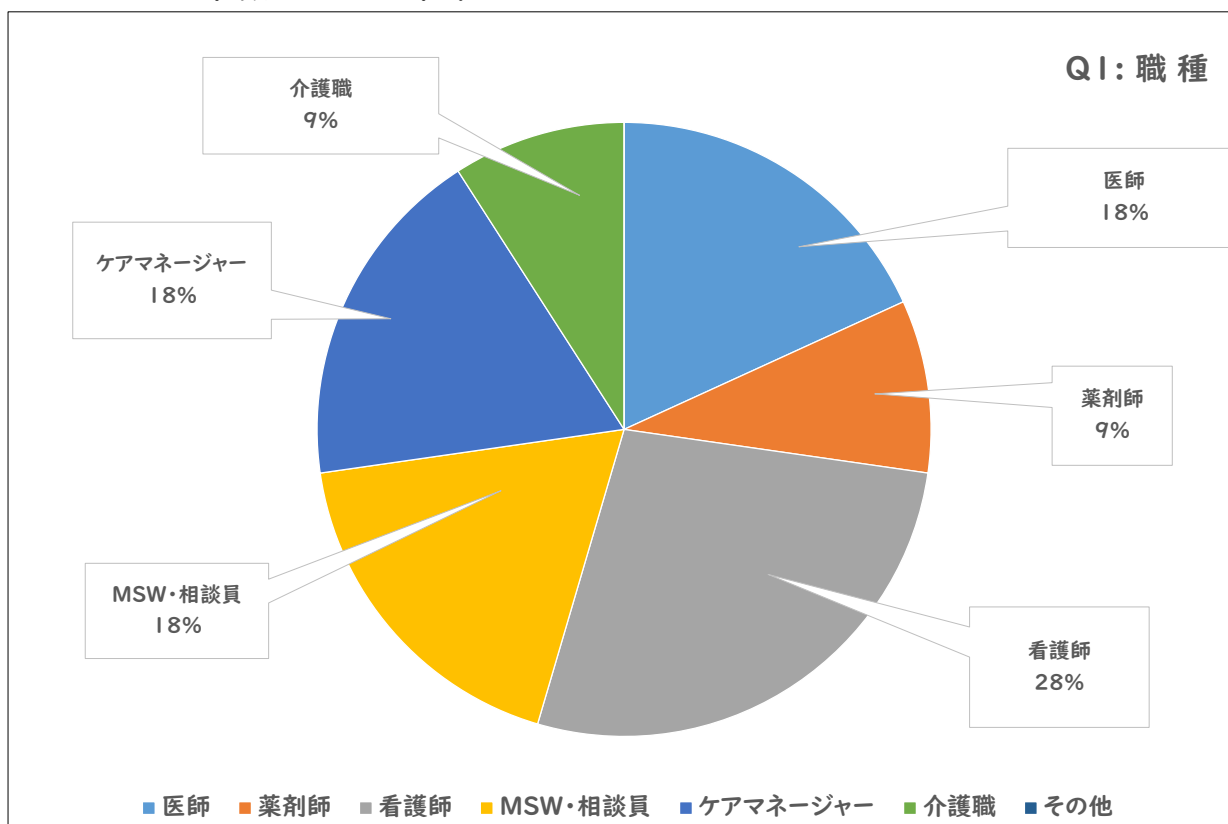
【令和8年度 医療介護専門職研修会】

●開催日 令和8年4月9日(水) 19時~20時

●テーマ 「若年性認知症の理解を深める」

●当日参加者 46人 (Zoom31人 YouTube15人) 参加率90% (申し込み 51人)

●アンケート回答数 11人 回答率 23.9%



●参加者からの感想

- ・若年性認知症は働き盛りである世代のため、高齢者が認知症になるよりいろいろ課題があることを知りました。
- ・いつでも協力、相談できるという力強いお言葉をいただけて連携を感じました。
- ・とてもわかりやすいご講演でした。
- ・若年性認知症患者さんについては普段あまり意識しておらず、高齢者認知症患者さんと変わらぬ対応をしていました。病態は同じでも年齢によりその患者さんの生活への影響が違うことを教えていただきありがとうございました。今後の仕事に生かしていければと思います。
- ・大変有意義な研修の機会でした。
今のところ私が支援している方の周りには同様の若年性認知症の方はおらず、自身の知識もない状態です。このような最新の知見をえることはとても重要な機会だと感じます。理解が簡単なようで複雑な病気の診断や制度の活用などを理解することができました。
助けを求めている利用者家族がいれば、制度を利用できる橋渡し役になればと考えています。
- ・今日は、研修会参加させて頂きありがとうございます。若年性認知症に関して、分かり易く説明頂き勉強になりました。
- ・相談支援の流れ、制度やサービスなど知ることが出来た。
また、早期発見早期治療の大切さ分かってはいるが、デリケートな部分でなかなか難しいと感じた。
- ・若年性認知症支援コーディネーター原先生から事例なども踏まえた話を聞くことができ、貴重な学びの機会になりました。
- ・質疑応答があればよかった。
若年性認知症の相談を受けることができる場所を、当会でもアピールしてください。
- ・若年性認知症なのではないか？と不安な方がいたときに、相談場所があること、懇切丁寧な関わりがあることがわかったことで、早期の受診につながり、その方の未来が変わったとしても不安ではないとお伝えしたと思います。ありがとうございました。
- ・若年性認知症は家族や職場の方が気づき医療に繋げる事が多いと知り、お互いがどうやって本人に伝えるのだろうかと思いました、質問できれば良かったのですが、大人になってから、SLD ASD ADHDなど学習障害がある方と若年性認知症の見分け方なども教えて欲しいと思いました、職場の方が若年性認知症と診断されてからの、仕事への指示の出し方、仕事以外での関わり方などもお聞き出来たら良かったです。

●今後の研修会開催に関するご意見

- ・実際に認知症のご家族のサポートなども知りたいです。
- ・人工透析などをおこなう方の支援の方法。身体障がい者への理解、利用できる制度の説明など聞いてみたい。
わかっているようでいざ申請の支援などを依頼されたときに、つまづくことがあるため最新の知見を学習したい。
- ・若年性認知症の方の対応に困惑する事があります。関わり方等の事例を含めた研修会があれば参加したいです。
- ・若年性認知症の方の関わり方、接し方
- ・認知症当事者のお話、メンタルヘルス、
- ・講師の方がお話しされていましたが、実際に若年性認知症のかたと触れ合う機会があると良いと思いました。
講師という立場が難しいならば、サロン形式でも。

●その他、ご要望・ご意見

- ・時間がギリギリでも一つぐらいは質問があってもいいのではないかと思います。

●講師へ対する質問と回答(アンケート内に記載された質問に対する回答)

《質問1》

質問です。若年性認知症で、性的トラブル、暴力、万引きなどの困った事例はあったか。
家族性の、若年性認知症はなかったか。ベータアミロイド抗体薬の治療を、積極的に勧めているか。以上、お願いします。

《質問1に対する講師からの回答》

- ・若年性認知症で、性的トラブル、暴力、万引きなどの困った事例はあったか。
早期から関わる方が多く、進行することでいろいろなBPSDの症状が出てきます。
ご家族には、対応方法をお話ししたりしながらイライラしている時やそわそわしている時などの対応をお話しています。
関わった方では、障害福祉の就労継続B型作業所が利用できるようになった方で、作業所の女性スタッフ(40~50代)さんが、やさしく対応してくれていたことを勘違いし、そのスタッフさんのお尻を触ったり、追いまわして、利用できなくなりました。
さらに、他の作業所へもこのようなことがあったので利用できなくなり、在宅にて内職的なことをしています。
- ・家族性の、若年性認知症はなかったか。
本人の親が、認知症とのことは多いです。
- ・ベータアミロイド抗体薬の治療を、積極的に勧めているか。
検査結果により対象となるか、ならないかは、医師の判断となります。
対象であれば、本人・家族へ説明して新薬投与となります。
2週間/1回投与 3~6ヶ月でMRI検査、心理検査の実施となる方が多いです。
本人に確認すると自分では、新薬投与して効いているのかわからないと言う方も
多いです。新薬投与の方の1/3程度は、改善・維持していると言われていました。
治療薬については、相談者へは、伝えています。